

大賞（南国市長賞）

岸野 由夏里さん（京都府京都市）

カミナリオヤジ様

小学生の頃、友人が投げたボールを私が取れず近くの家で鉢の割れるような音がした時、一目散に逃げた。ごめんなさい、実はあの時、と就職し初任給で買った鉢植えを差し出す私にこっちに来なさい、と貴殿は言った。お説教されるのかと庭へついていくと、物置から薄汚れたボールを出し、大事な物だろうと言って渡してくれた。私を泣かせたのはカミナリオヤジではなく神なるおやじ様だった。

優秀賞（南国市副市長賞）

ごんさくさん（鳥取県米子市）

近所の小学生たちは我が家の畑の前を登下校していきます。

ある日、ふと外に目を見やると、女の子がそっとアイスのカップを畑に置いていきました。

ゴミを捨てたのかな？私は慌てて外に出て、少し残念な気持ちでカップを持ち上げました。

おや？その下には芽を出したばかりのスイカがあります。

今日はあいにくの雨でしたが、私の心には太陽が差した思いです。

子どものさりげない優しさを、ゆっくりと見守っていききたいものです。

優秀賞（南国市副市長賞）

谷口 美奈子さん（千葉県船橋市）

長女へ

短大の謝恩会の前日、ホテルで一泊して着付け希望者は着付けをして出席するというプランが提示されましたね。あなたは希望したいようなことを言ったのに、お母さんは通えるのに泊まる必要はないと直ちに却下してしまいましたね。多分、ホテルで友人たちと泊まって楽しめたかったのだと後で思いました。3万円という金額を考えて断ったけれど、一生に一度の思い出なのだから宿泊させてやればよかったと今では後悔しています。

優秀賞（南国市副市長賞）

春野 臨太郎さん（兵庫県神戸市）

私が小学2年生の時。私は3歳の妹が目の中に入れても痛くない程可愛かったのです。そこで妹に「将来結婚する人は赤い糸で結ばれるんだよ」と教えました。そして妹が居眠りしている隙に妹の小指と私の小指を赤い糸で結びました。起きた妹は吃驚！そして泣き始めました。「私、お兄ちゃんと結婚するの？好きな男の子いるのに！」いくら妹が可愛いと言えちょっと冗談が過ぎてしまいました。妹へ。あの時は本当にごめんね。

優秀賞（南国市教育長賞）  
坂本 琉菜（高知岡豊高校）

いつも母は私に、学校生活について聞いてくる。優しい口調で。でも私は、しつこく聞いてくるもんだからつい、「とくにない、普通！」と強く怒った口調になる。その後に言い過ぎたと反省するが謝れない。私はいつも母にケンカ腰みたいに言うてしまう。傷ついていることに気付いているのに謝れなくてごめん。面とむかって謝りたい。ごめんなさい。

優秀賞（南国市教育長賞）  
永澤 日菜子さん（高知岡豊高校）

私が中村から高知の高校に進学してきて会うことが少なくなったおじいちゃん、いつも電話で心配してくれてありがとう。中村にいた時は毎日のように遊びに行つて、ごはんを食べに行ったりしていたのに、あまり会えなくなった。たまに帰る時も、おこづかいが少なくてごめんねって謝らせてごめんなさい。お金はくれなくても良いので、長生きして、私の結婚式と一緒にバージンロードを歩いてね。